

## 解説

右の図のように、㊂～㊅とおきます。

まず㊂にあてはまるのは、6だとわかります。

$$\begin{array}{r}
 4 \ \textcircled{5} \ \textcircled{0} \ \textcircled{6} \ \textcircled{2} \\
 - \ \textcircled{6} \ \textcircled{4} \ \textcircled{5} \ \textcircled{3} \\
 \hline
 3 \ 3 \ 3 \ 3 \ 3
 \end{array}$$

のこりの数の[1], [2], [5], [7], [8], [9]を使って、差が3になる組み合わせを考えましょう。

①くり下がりのないとき  $\boxed{8} - \boxed{5}$

$$\begin{array}{r}
 8 \\
 - 5 \\
 \hline
 3
 \end{array}$$

②くり下がりが1回あるとき  $\boxed{2} - \boxed{9}$ ,  $\boxed{1} - \boxed{8}$

$$\begin{array}{r}
 1 \quad 2 \\
 - 8 \quad - 9 \\
 \hline
 3 \quad 3
 \end{array}$$

③くり下がりが2回あるとき  $\boxed{1} - \boxed{7}$ ,  $\boxed{2} - \boxed{8}$

$$\begin{array}{r}
 1 \boxed{1} 2 \\
 - 7 \quad 9 \\
 \hline
 3 \quad 3
 \end{array}$$

ここで、[5]のカードは①のくり下がりがないときの $\boxed{8} - \boxed{5}$ でしか使えませんので、 $\boxed{8} - \boxed{5}$ は決まりですね。そうすると、②のくり下がりが1回あるときの組み合わせは[8]のカードがもう使えないで $\boxed{2} - \boxed{9}$ で決定。あと残っているカードは[1]と[7]なので、③のくり下がりが2回ある場合として $\boxed{1} - \boxed{7}$ を組み合わせます。

では、あてはめてみましょう。③と⑤はくり下がりなしの $\boxed{8} - \boxed{5}$ 、④と⑥は1回くり下がる $\boxed{2} - \boxed{9}$ 、①と②は2回くり下がる $\boxed{1} - \boxed{7}$ を組み合わせると完成しますね！

## 答え

$$\begin{array}{r}
 4 \ \boxed{1} \ \boxed{2} \ \boxed{8} \ \boxed{6} \\
 - \ \boxed{7} \ \boxed{9} \ \boxed{5} \ \boxed{3} \\
 \hline
 3 \ 3 \ 3 \ 3 \ 3
 \end{array}$$